

教科シラバス（家庭科）

科目名	子どもの発達と保育	単位数	2	対象	3年一般類型（普通）・選択	使用教材	教科書 子どもの発達と保育 ～育つ・育てる・育ち合う～ (教育図書)	副教材	
学 習 目 標									
・子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識と技術を習得しましょう。 ・子どもの発達や子育てに関心を持ち、関わろうとする意欲や実際に関わることができる能力と実践的な態度を身に付けよう。									
学 習 内 容	単元・要目	指導項目				学習内容			
	○オリエンテーション 1 子どもの発達の特性	(1)生涯発達における乳幼児期の重要性 (2)発達と環境 (3)発達観・児童観とは				・発達の概念や乳幼児期の子どもの発達の特性について理解する。 ・乳幼児期は、人が生涯にわたる生きる力の基礎を培う時期であり、子どもが主体的に環境に関わることが重要であることを理解する。 ・発達観や児童観は、時代によって異なっており、社会的な背景とともに発達観・児童観の変遷の概要について理解する。			
	2 子どもの発達過程	(1)身体発育と運動機能の発達 (2)乳幼児期のからだの発育 (3)乳幼児期の発達の特徴 (4)人間関係の発達 (5)心の発達				・子どもの発達をとらえるための重要な側面を知り誕生から幼児期までの子どもの身体発育・運動機能・認知機能・情緒・人間関係などの発達過程を通して、発達には、順序性や連続性があることを理解する。 ・人間関係の発達については乳幼児期における「愛着」が重要であることを理解する。			
	3 子どもの生活	(1)子どもの健康と生活 (2)子どもの食事 (3)子どもの衣服 (4)子どもの遊びと生活 (5)子どもの健康管理				・乳幼児の生活の特徴と適切な養護の在り方、生活習慣の形成、生活環境の整備、健康管理と事故防止など、乳幼児の発育・発達を促すための望ましい生活について具体的な事例を通して理解する。			
	4 子どもの保育	(1)保育の意義と目標 (2)保育の方法 (3)保育の環境				・子どもの発達を促すための保育の必要性和意義を理解し、保育の目標に応じた基本的な保育技術を身に付ける。 ・家庭保育や集団保育など、それぞれの保育環境の特徴と役割について理解するとともに、よりよい環境の構成には、家庭生活との連続性が重要であることを理解する。			
授業の概要と特色	家庭科保育技術検定の受検や保育園実習など、実践的・体験的な活動と関連を図りながら展開する。								
学習評価の観点及び方法	(観点1：関心・意欲・態度) ・授業・実習態度、ワークシート、ノート、家庭クラブ活動状況などから意欲的に取り組む態度を評価します。 (観点2：思考・判断・表現) ・ワークシート、ホームプロジェクト、定期考査などから課題解決に向けて考えを深め、適切に判断しているかを評価します。 (観点3：技能) ・実習や検定を通して、保育に関する基礎的な技術が身に付いているかを評価します。 (観点4：知識・理解) ・ホームプロジェクト、定期考査などから、基礎的・基本的な知識を身に付けているかを評価します。								
学習サポート	・検定や実習に積極的に取り組みましょう。								